

平成30年度 第1回地域づくり推進委員会

平成30年4月23日（月）10:35～11:28

寒河江市役所1階 議会第2会議室

【出席者（敬称略）】

（委員）

委員長 立松 潔
委員 岡部 優子
委員 國井 周
委員 駒込 勉
委員 長岡 伸明

（事務局）

事務局長 菅野 英行 副市長
事務局次長 中田 隆行 企画創成課長
事務局 東海林 恒 企画創成課長補佐
事務局 村上 英広 企画創成課主査
事務局 大久保 臣悟 企画創成課主任
事務局 菊池 友宏 企画創成課主任

次第

- 1 開会
- 2 事務局長あいさつ
- 3 委員長互選
- 4 説明・協議
 - (1) 寒河江市地域づくり推進委員会設置要綱の一部改正について
 - (2) 平成29年度事業実施結果について
 - (3) 平成29年度実施事業のさがえ元気づくりAWARD2017地域貢献部門賞への推薦について
 - (4) 平成30年度地域課題解決事業について
 - (5) 地域よろず応援事業について
- 5 その他
- 6 閉会

3 委員長互選

各委員より事務局一任の声があり、事務局より引き続き立松委員を委員長としてお願いする旨提案。各委員より異議なしの声があったため、委員長として立松委員を選出。

4 説明・協議

(1) 寒河江市地域づくり推進委員会設置要綱の一部改正について

事務局より市役所内の組織再編により担当課の名前が変更されるとの説明あり。質疑等なく、改正について承認。

(2) 平成29年度事業実施結果について

事務局より実施結果について説明。質疑等なし。

(3) 平成29年度実施事業のさがえ元気づくりAWARD2017地域貢献部門賞への推薦について

事務局よりAWARD及び過去の受賞団体の説明。例年5団体程度を事務局が予備選考し推薦する形だが、本年度は交付対象団体が3団体のため選考せず、推進委員会において3団体の中から1団体を推薦することになると説明。委員による協議によって1団体を選考。

発言者	内 容
A委員	評価をこれからするというのでよろしいか。
事務局	評価ではなく、選考をお願いしたい。協議の中で1団体を決めていただきたい。
A委員	本日は初めて本委員会に出席した委員もいるが、率直にどうか。
B委員	そもそもこういった表彰をするということは地域に定着させることが目的の一つと考える。市外へのPR、アピールという点では確かに流鏝馬には華やかなものがある。だが、やはり継続、定着してもらおうということを考えると、今回はグリバーさがえ利用促進連絡協議会にと考える。今後も定着してほしいとの希望も込めて表彰をするということが考えとしてあるのかなと思い提案する。
A委員	3年目でもあり来年度も続けていただきたいということでバックアップの意味も込めてグリバーさがえを推薦する案があるのではないか。

→ さがえ元気づくりAWARD2017地域貢献部門賞への推薦は『グリバーさがえ利用促進連絡協議会』で決定。

(4) 平成30年度地域課題解決事業について（詳細は「評価シート」を参照）

事務局より事業について説明。説明後5分程度時間を設け、各委員は評価シートに記入。記入後、事務局で評価シートを回収。(5)の説明と並行する形で、事務局で記載内容を取りまとめたものを配布。(5)の協議が終わり次第、審査結果について協議し「寒河江流鏝馬大会」を採択相当とした。

(5) 地域よろず応援事業について

事務局より事業内容について説明。質疑等なし。

5 その他

事務局より今後の流れと次回開催日について説明。今後の流れとして、5月から6月末頃までに地域よろず応援事業を含めた二次募集を行い、7月中旬頃に第二回推進委員会を開催する見込みであること、7月の夏休み前には交付決定を行う予定であることを説明。その他各委員より下記発言あり。

発言者	内 容
C委員	地域よろず応援事業(D)について、拡大自体はいいことなのだが、やはり地域づくりにおいては既存の地域計画策定事業(A)、地域課題解決事業(B)、元気創造事業(C)の方が大事だと思う。ここの部分がだめだからこっちの方でいい、ということにはならない。(A)～(C)も頑張って(D)も頑張らないといけないと思う。是非(A)～(C)の事業についての掘り起こしと、市役所でも各地区に担当職員がいるのだから、掘り起こしだけではなく地区毎に事業を作っていかなければならないと思う。

D委員	今年度の報告をあげていただくときには、事業実績や成果を詳しく書いていただければと思う。
事務局	市の方では必ず数値的な目標を設定してほしいこと、また、それに対しての結果がどのようなものだったのかをきちんと回答するように伝えている。以前の委員会の中でもそのような話があったためお願いしているところだ。ご指摘いただいた事業の実績については、詳細に記載するようあらためて指導いたします。
B委員	寒河江はイベントが多くて元気があって大変良いと思う。が、イベントごとに主催している団体さんがバラバラで分かりにくいと思うことがある。もう少し、アピールするにしても、もっとまとめてできないのかとすごく感じる。ポスターもそれぞれで作っているのだが、この主催団体はどこなのか、どこに問い合わせればいいのか、それぞれ違っているので統一感がない。特に市外の人にしたら窓口は一つの方が分かりやすいのではないかなと思う。協力体制や連携を図ってもらってもよいのではないかな。
A委員	なかなか難しい問題もあるかとは思いますが、なにかまとめる方向で検討してみてはどうか。
B委員	観光協会がいいのか、市がいいのか、または商工会がいいのか。
A委員	そうですね。その点はいいい方法があるのかどうか検討してもらって。

11:28 閉会

平成30年度 地域の活力アップ応援事業 地域課題解決事業 評価シート集計表

No.	事業名	交流拡大の効果 (広域性)	交流拡大の効果 (世代間の広がり)	新規性	地域の特色の 活用、独自性	地域経済への 波及効果	総合評価 (地域の活性化 に資するか)	備 考
1	寒河江流鏝馬大会	A	A	B	A	B	A	
		B	B	B	A	B	B	
		B	A	B	A	B	B	
		A	A	B	A	B	A	
		A	A	B	A	B	A	

平成30年度 地域の活力アップ応援事業 地域課題解決事業 評価シート(自由記述)

No.	事業名	備 考 (その他評価できる点等)
1	寒河江流鏝馬大会	<p>○マルシェの開催により、より多くの来場が期待される。</p> <p>○流鏝馬そのものの歴史は、寒河江のものと考えられるが、開催時期を春に変更し、寒河江八幡宮への奉納と別の意味にとらえれば、西村山地区全域のものとしてもっとアピールをしてもらいたい。(※マルシェ、西村山観光ルート案内等にも大いに役立つものと考えられる。</p> <p>○地域の活性化、交流拡大に貢献できる。寒河江の伝統文化を維持継承する意味も大きい。</p> <p>○文化的な継承・発信の上でも有効な取り組みと考えられる。</p>